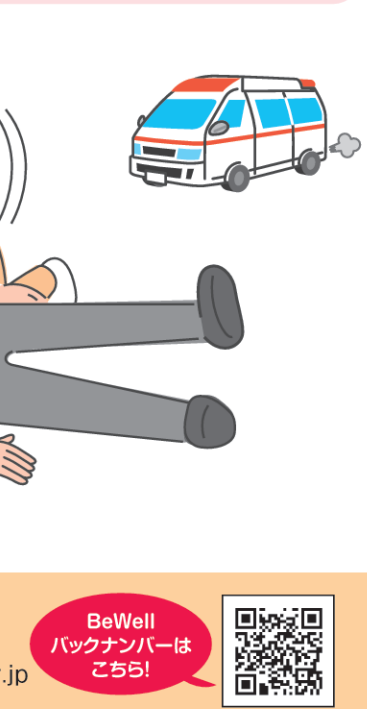


⑤ AEDを使用
AEDに小学生～大人用と未就学児用の2種類の電極パッドが入っている機種や本体を未就学児モードに切り替えるスイッチがついている機種があります。
●体が小さくて電極パッドが重なる場合は、胸と背中に貼ってください。
●電源ボタンを押して、音声メッセージに従って行動してください。



簡単!



●保存版●
**心肺蘇生法と
AEDの使い方**



④ AED(自動体外式除細動器)を使用

電源を入れると音声メッセージが流れるので、その指示に従って行動してください。

① AEDの電源を入れる

AEDのふたを開けると電源が自動的に入るものもあります。

② 電極パッドを素肌に貼り付ける

傷病者の胸の服をずらして、電極パッドの粘着面をイラストに従って**右の鎖骨下と左のわき腹のあたり**に素肌に直接貼り付けます。
AEDが自動的に解析してくれます。

※AEDのパッドに描かれているイラストをご参照ください。

③ 音声メッセージに従います

「体から離れてください」などの音声メッセージが流れたら、胸骨圧迫などを止めて離れます。



- 電気ショックが必要な場合は、AEDが「ショックが必要です」と知らせて充電を開始します。「ショックボタンを押してください」と音声メッセージが流れたら、みんなが離れていることを確認して、ショックボタンを押します。
電気ショックを行ったら、すぐに胸骨圧迫を再開します。
- 電気ショックが不要な場合は、直ちに胸骨圧迫を再開します。



救急車が来るまで胸骨圧迫を続けてください



倒れた人を発見したら

① 反応があるかを確認！

大丈夫
ですか!?



反応なし
または
迷ったら



119番通報

AED手配



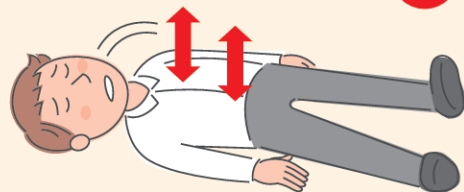
倒れている人がいれば、まずは自分の安全を確保！
(マスクをする、周囲の安全を確認など)やさしく肩を
たたきながら、大声で「大丈夫ですか?」と呼びかけま
す。

反応がなければ(迷ったり、分からなかった場
合も)、助けを呼び、119番通報とAEDの手配
を依頼します。(スマホでスピーカー機能を活用
すると通信司令員が指導してくれます。)



ここをチェック!

② 普段どおりの呼吸があるかの確認



胸とお腹が上下しているか
10秒以内に判断

傷病者の胸とおなかの上がり・下がりを見て
「普段どおりの呼吸」をしているか10秒以内に
判断します。

呼吸なし
または
迷ったら

胸骨圧迫

AED手配

普段どおりの呼吸をしていない場合、呼吸を
しているか迷った場合や分からない場合は胸
骨圧迫を開始・AEDを使用します。

子どもに対する心肺蘇生法

手順は上の①～③を
行ってください

大人と違う
ポイント

① 反応があるかを確認！

大丈夫?



乳児の場合、足の裏を
叩いて刺激します。

② 普段どおりの呼吸があるかの確認！

③ 胸骨圧迫を開始！

子どもの場合



胸の真ん中にある胸骨の下半
分を手で、強く、速く、絶え間な
く圧迫します。

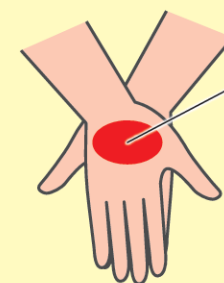
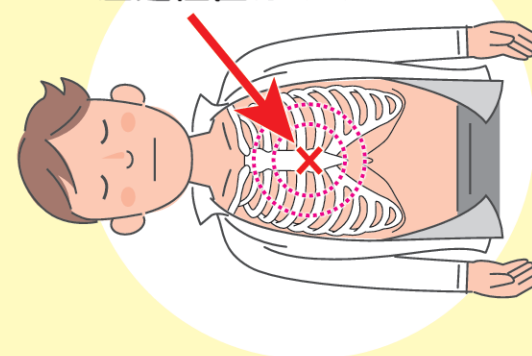
乳児の場合



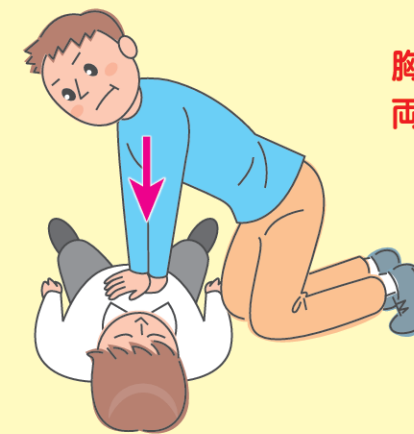
乳児の場合は、両乳頭を結ぶ線
よりすこし足側の胸骨の下半
分を指2本で圧迫します。

③ 胸骨圧迫を開始！

胸骨の
圧迫位置はここ！



この部分で
圧迫する



胸の真ん中にある胸骨の下半分に重ねた
両手で、強く、速く、絶え間なく圧迫します。

約5cm
しっかり圧迫

- ① 胸骨の下半分に、手のひらの付け根を
置き、もう片方の手を重ねる。
- ② 両肘を伸ばして手のひらの付け根の
部分に体重をかける。
- ③ 真上から垂直に傷病者の胸が約5cm
沈み込むようにしっかりと圧迫する。

1分間に
100～120回

④ 1分間に100～120回のテンポで連続し
て絶え間なく圧迫します。

⑤ 圧迫と圧迫の間は、十分に胸が元の高さ
まで戻るようにします。

⑥ 交代するときには、「あと5回で代わって
ください」など声を掛け合い、絶え間なく
胸骨圧迫できるようにします。

あと5回で
代わって
ください!



人工呼吸が行える場合

人工呼吸を行える
場合には、人工呼
吸2回と胸骨圧迫
30回を交互に行
います。



人工呼吸2回と
胸骨圧迫30回を交互に行う

④ 人工呼吸を行う

子どもの
場合



気道確保(頭部後屈あご先挙上)
して、口対口または口対口鼻人工
呼吸を行います。気道確保の時に
後屈させすぎると、かえって空気
の通り道を塞ぐことになります。
胸骨圧迫と人工呼吸を30:2のサ
イクルで絶え間なく続けます。

乳児の
場合



乳児や子どもの場合は、
呼吸が悪くなったことが
原因で心停止に至ること
が多いため、胸骨圧迫に
人工呼吸をあわせた心
肺蘇生ができるようにな
ることが望ましいです。

垂直に押し、胸の厚さの3分の1ぐらい沈み込む
ようにしっかりと圧迫します。
1分間に100～120回のテンポで圧迫します。